

# 佐久間ダム運転70年記念 遠鉄にラッピング電車



3月末ごろに運行される遠鉄のラッピング電車（電源開発提供）

## 文化芸大生デザイン 来月末ごろから運行

浜松市天竜区の佐久間ダムの水力発電所が運転開始70年となるのを記念し、遠州鉄道でラッピング電車が運行される。発電所を運営する電源開発（Jパワー）が地元の静岡文化芸術大の学生から作品を募り、最優秀賞を選んだ。電車は3月末ごろから1年間、市内を走り、戦後の高度経済成長を支えた佐久間ダムや北遠地域の魅力を伝える。（河野紀子）



ラッピング電車にデザインが採用された伊藤さん（前列左から3人目）と龍美さん（同4人目）＝浜松市中央区中央の静岡文化芸術大で

10作品の中から、同市浜名区引佐町の久留女木の棚田で米作りを行う学生団体「引佐耕作隊」の有志5人の作品が最優秀賞に選ばれた。佐久間ダムやダムが取水する天竜川流域の郷土芸能、ボート競技やアユ釣り、最後にアクトタワーがそびえ立つ市街地を色鮮やかに描いた。

20日に同大であった表彰式には、有志5人のうち、いずれもデザイン学部デザイン学科2年の伊藤凜さん(20)、龍美奈々さん(20)が出席。伊藤さんは「佐久間ダムで作られた電気が町の人々に届いていることを表現した。ラッピング電車に採用され、とてもうれしい」と笑顔を見せた。優秀賞の2作品の学生も表彰した。

電源開発中部支店の足立健治支店長は、「どの作品も素晴らしい、ワクワクした気持ちで制作に取り組んでもらったと感じる。地元の学生さんたちと一緒に、天竜川流域のにぎわいを作っていきたい」と話した。

ラッピング電車は、佐久間ダムの地域とのつながりや魅力を広く発信するのが目的。同社は天竜川水系で複数の水力発電所を運営し、基幹施設である佐久間ダムの発電所で大規模更新工事を予定しており、節目に合わせて企画した。